

1 単元名 Lesson 9 The Underground reporters / PRO-VISION English communication II (桐原書店)

2 単元の目標

- 相手が読んだストーリーについて質問したり、自分が読んだストーリーについて相手からの質問に答えたりすることができる。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- 読んだ内容を自分の言葉で相手に分かりやすく伝えることができる。 (外国語表現の能力)
- 第二次世界大戦下の悲惨な環境の中で暮らした人びとの心情を読み取ることができる。 (外国語理解の能力)
- 要求や提案を表す動詞 (suggest, recommend など) の用法, 「be + to do」が表す意味や用法を理解している。 (言語や文化についての知識・理解)

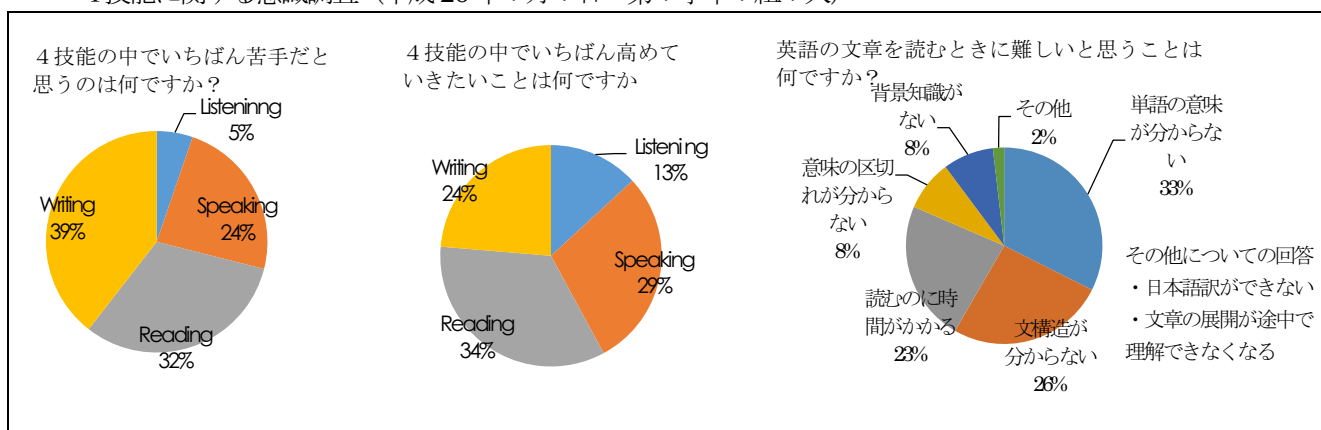
3 単元について

(1) 教材観

本単元は、第二次世界大戦におけるユダヤ人虐殺という絶望的な状況下で、生徒たちと同年代の若者たちが『クレピー』という新聞を書くことで前向きに生きようとした姿を描いた内容である。困難に立ち向かった彼らの勇氣ある行動とはどのようなものだったかを、彼らの置かれた時代や環境を踏まえた上で、彼らの心情とともに読みとっていく。

(2) 生徒の実態

4技能に関する意識調査 (平成26年*月*日 第*学年*組*人)



リーディング活動には興味・関心が高く、意欲的に取り組む生徒が多いが、細部にこだわりながら一文一文を丁寧に読もうとするあまり、読み終わるのに時間がかかってしまう生徒が多い。説明文や論述文では、主題文や指示文、結論文などを意識して客観的に文章を読んだり、物語文では、未知の単語が出てきたときに前後の文脈の流れから意味を推測しながら読んだりする力が不十分で、書き手の主張や物語の展開があいまいなまま読み終わってしまう生徒がいる。

(3) 指導観

生徒の実態を踏まえ、第一に、速読のスキルを身につけて英文を速く読み進めることができるようにする。毎授業の最初に3分間速読練習を行い、談話標識 (discourse marker) の意味と働きを意識したり、語彙やパラグラフごとの意味を予測したりすることでリーディングスキルを身に付ける。第二に、読んだ内容を的確に理解する力を育てる。学習効果を高めるためにペア・ワークを取り入れ、インフォメーションギャップを利用しながらペアで1つの英文を読み進めていく活動や、異なる英文を読んで伝え合うストーリーテリングなど、インタラクティブな言語活動を行っていく。第三に、読んだ内容を自分の言葉を用いて簡潔に英語で表現できるようにする。サマリーを書く際にはスムーズに表現できるように英文の内容に関するキーワードを提示したり、ストーリーテリングをする際には展開を示す絵をワークシートで示したりすることで、順序立てて表現できるようにする。

4 指導と評価の計画 (8 時間扱い)

時間	学習内容	関	表	理	知	評価規準 (評価方法)
1	ナチス、ホロコースト、強制収容所などから連想することを発表する。また、スクリーンに写された画像を見ながら本文内容のスキーマを活性化させ、本文を読む動機づけを高める。そして、本文全体を一気に読み通し、大まかな内容を把握する。	○		○		<ul style="list-style-type: none"> スクリーンに写された画像を見ながら、教師の発問に答えることができる。(観察) 本文全体の大まかな内容を把握することができる。(ワークシート)
2 3 4 5 (本時)	ユダヤ人が置かれていた過酷な状況の中で、自分たちの新聞を作ろうと呼びかけたルーダの気持ちや、その新聞がユダヤ人社会に希望を与える様子、また、その新聞が廃刊に追い込まれる状況や、収容所へ送られる前に新聞に別れを告げるときのルーダの心情を読み取る。その後、ペアでストーリーテリングを行う。	○	○	○		<ul style="list-style-type: none"> 協力してペアワークに取り組もうとしている。(観察) 各パートの本文を、ストーリーの展開に沿って把握することができる。(観察・ワークシート) ペアでストーリーテリングを行い、読んだ内容についての的確に相手に伝えることができる。(ワークシート)
6 7	ペアで異なる英字新聞の記事を読み、相手に分かるようにサマリーを書いたり、その内容を伝えたりする。		○	○		<ul style="list-style-type: none"> 読んだ内容について相手に分かるようにサマリーを書いたり、的確に相手に伝えたりすることができる。(ワークシート)
8	<ul style="list-style-type: none"> ① 省略について理解する。 ② <suggest [recommend, demand, etc.] + that + 主語 + (should) 動詞の原形> の用法を理解する。 ③ be + to do の用法を理解する。 		○		○	<ul style="list-style-type: none"> 省略について理解している。(課題) suggest や recommend などの動詞の用法を理解し、適切に表現することができる。(課題) be + to do が表す意味や用法を理解し、適切に表現することができる。(課題)

5 本時の指導

(1) 目標

- 本文の内容をできごとの経過に沿って自分の言葉で分かりやすく書いて伝えることができる。
(外国語表現の能力)
- 速読のスキルを効果的に使いながら本文の概要を把握したり、詳細に意味内容を理解したりすることができる。
(外国語理解の能力)

(2) 準備するもの

速読演習シート、ストップウォッチ、教科書、CD、ワークシートA、ワークシートB

(3) 展 開

時間	指導過程 (テロップ)	生徒の学習活動	教師の活動及び 指導上の留意点	主な評価の観点	評価方法
5分	1. Greeting and Rapid Reading	<ul style="list-style-type: none"> 速読演習シートを使って3分間の速読を行った後、Q&Aに取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ストップウォッチで時間を計測し、スピードを意識して取り組ませる。 		
10分	2. Review - Q&A - Story Retelling	<ul style="list-style-type: none"> 前時で学習した本文内容に関連する画像やキーワードを見ながら内容理解に関する教師の発問に答え、ペアでストーリーテリングを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ストーリーテリングにスムーズにつなげていけるように、生徒との問答を通して前時の学習内容を思い起こさせる。 表現しやすいように視覚教材やキーワードを提示する。 		
25分	3. Reading and Writing - 推測 - スキャニング - スキミング	<ul style="list-style-type: none"> ペアになり、Part 4の前半を読む側と後半を読む側に分かれる。 ペアで分担した前半または後半の本文のスキャニングを行いながら、時を表す語句に印をつけ、意味と働きを確認する。 スキャニングした前半または後半の本文内容について、出来事の流れや主人公の心情の変化をメモ書きでまとめる。 メモ書きでまとめたものを英文にする。 	<ul style="list-style-type: none"> スキャニングの時間を設定し、集中して取り組むよう促す。 スキャニングで印をつけた箇所に注意し、5W1Hを意識しながらスキミングで読み取るように促す。 英文を書くことにつまずいている生徒には、必要に応じて辞書を使うよう促したり、表現の仕方を助言したりしながら、スムーズに活動できるよう支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> スキャニングやスキミングを使って本文の前半または後半の概要を読み取ることができたか。(理) 	ワークシート 自己評価
5分	4. Presentation	<ul style="list-style-type: none"> ペアでストーリーテリングを行い、相手が読んだ前半または後半の本文内容に関する質問をしたり、相手からの質問に答えたりしながら、本パート全体の展開を把握する。 数名の生徒がストーリーテリングをクラス全体に発表する。 自分が書いた英文との違いを比較する。 	<ul style="list-style-type: none"> インフォメーションギャップを意識させることにより、相手のストーリーテリングを聞いて前半または後半の展開を把握するよう促す。 聞いて理解できなかった箇所は、相手に質問しながら理解するよう促す。 自分が書いた英文との表現の仕方の違いに気付かせ、読んだ内容を相手に分かりやすく伝えるにはどう表現したらいいのかを考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 前半または後半の内容を相手に分かりやすく書いたり、的確に伝えたりすることができたか。(表) 	ワークシート 自己評価
5分	5. Wrap-up	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価をする。 ワークシート、自己評価を提出する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時で学んだことをまとめ、次時の授業の連絡をする。 		

Part 4 (教科書 p.122-124)

ディスコース・マーカー (discourse marker) に注意して、次の英文を読みなさい。

☆ディスコース・マーカーとは、接続詞や文章の論理展開を示す語句のこと

February 1942 //

In early February 1942, / the news arrived / that all the Jewish people in the town most feared ; / they were all to be sent / to a concentration camp. //

Ruda too had to get ready to leave. // As he was packing, / he wondered / where he could keep the set of twenty-two newspapers safe / during his absence. // He could not take them with him, / since he had no idea / what was going to happen to him. // If he left them behind in the house, / on the other hand, / they might be destroyed. // *Klepy* was more than just a newspaper. // It was a precious record / of the lives and dreams / of the many Jewish boys and girls / who had been involved in its creation. // By writing it / they had tried to brighten the gloom around them / and keep alive the hope / that one day peace would return. //

In the end, / he thought of a good place / to store the newspapers. // He could only pray / that they would make it safely through the war. // Saying farewell to *Klepy* / was like saying farewell to a dear friend. //

Outlining

February 1942

_____ arrived
The news = Jewish people were all _____.
ユダヤ人全員が強制収容所へ送られることになった



Ruda could not take newspapers with him, since ...
ルーダは自分と一緒に新聞を持っていくことはできなかった, なぜなら...
he _____



On the other hand
If he left them behind in the house, they _____.
家に残していけば,



In the end
He thought of a good place to _____.

Question

Where do you think Ruda store the newspaper?

I think _____
because _____

Part 4 (教科書 p.122-124)

ディスコース・マーカー (discourse marker) に注意して、次の英文を読みなさい。

☆ディスコース・マーカーとは、接続詞や文章の論理展開を示す語句のこと

In April / the town's entire Jewish population / was sent by train / to a concentration camp. //

More than six million Jews / had lost their lives / by the end of the war in 1945.

// Almost none of the children and young adults / from Budejovice / survived. // As for Ruda, / one day / he was working in the camp / when a German soldier ordered him / to hand over the coat he was wearing. // He refused. // He was shot on the spot, / having fought for his rights and his dignity / until his last breath. //

All twenty-two issues of *Klepy* / came safely through the war. // Ruda had given them to a Christian friend / for safekeeping, / and after the war / they were returned to Ruda's sister, / who had miraculously survived. // *Klepy* is now on display / at the Jewish Museum in Prague. //

Outlining

In April (in 1942)

Jewish population was _____ to a concentration camp.



by the end of the war in 1945

More than _____ Jews had lost their lives.
(↑ number)

Ruda

He was _____

when a German soldier ordered him to hand over the coat he was wearing.

着ているコートを渡すようドイツ兵に命令されたとき

He refused.

He was _____.



through the war

Klepy came safely because Ruda _____



after the war

The newspapers were _____ to Ruda's sister.



now

Klepy is on _____ at the Jewish Museum in Prague

Question

Why do you think Ruda didn't take the newspapers with him?

I think _____

because _____